

ニュースリリース

『世界を変えたレコード展』

レコードコレクションからたどるポピュラーミュージックの歴史



大阪展開催に関するご案内

会期：2017年6月21日(水)–7月23日(日)

会場：グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル イベントラボ
入場無料

主催：K.I.T.金沢工業大学、読売新聞社、一般社団法人ナレッジキャピタル

本件に関するご取材、お問い合わせ先
金沢工業大学

企画部 担当：新田光子 koho@kanazawa-it.ac.jp

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1

電話 076-246-4784 FAX 076-248-7318

<http://www.kanazawa-it.ac.jp/>

はじめに

レコードの誕生、それは、まだ見ぬ夢の旅のはじまりでした。

黒い円盤から流れる音楽に驚愕し、アーティストたちの HOT で COOL でスタイリッシュなメッセージに共感し、31.3センチ四方のジャケット ART に魅了され、夢の記録メディア＝レコードの登場は、ファッションやライフスタイルなど、私たちの暮らしを、世界を瞬く間に一変させました。

ジャズ、ロック、カントリー、ブルース、R&B、J-POP・・・、いくつものジャンルに分類されながらも、常に大衆の心をとらえてきた音楽、それが「ポピュラー・ミュージック」。

1948 年 LP レコードの登場は、ラジオ、映画、雑誌など、いろんなメディアと連動して、「ポピュラー・ミュージック」の表現の場を広げることに貢献しました。

そんな「レコード」の魅力に着目した金沢工業大学は、アナログ・レコードが持つ、ジャケットの芸術性と技術や文化の関係に価値を見出し、学生の感性を刺激するという大きな役割を持ってポピュラー・ミュージック・コレクション(通称 PMC)を開設。プロデューサー立川直樹氏からの 17,000 点におよぶレコードの寄贈を受けて 1992 年にスタートしました。それから、25 年、今や PMC は 24 万枚を超える所蔵レコードに加え、音楽雑誌、書籍、新聞などポピュラーミュージックに関する関係資料が集まる世界でも有数のライブラリーに成長しました。

今回『世界を変えたレコード展』と題した展覧会を開催します。

いま、「アナログ・レコード」は、かつてのレコード愛好家のみならず、若い世代のアーティストたちの間で注目を集めています。そんななか、あえてデジタル時代に生まれ、レコードを知らなかった金沢工業大学で建築を学ぶ学生たちが現代の視点で監修者である立川直樹氏や担当教員宮下智裕准教授とともに膨大なコレクションを編集・構成し、「ポピュラー・ミュージック」の魅力をさまざまな角度から紹介する展示プランを練り上げました。

レコードコレクションから「ポピュラー・ミュージック」の歴史をたどることは、20 世紀という時代がいかに創造的であったかを見直させてくれることでしょう。さらに未来につながるまだ見ぬ夢の旅を一緒にお楽しみください。

金沢工業大学

実施概要

タイトル:『世界を変えたレコード展』

レコードコレクションからたどるポピュラーミュージックの歴史

会期 : 2017年6月21日(水)-7月23日(日)(会期中無休)

午前 11 時～午後7時まで(入場は閉場の 30 分前まで)

会場 : グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル イベントラボ

大阪府大阪市北区大深町 3-1

入場無料

主催 : K.I.T.金沢工業大学、読売新聞社、一般社団法人ナレッジキャピタル

後援 : FM COCOLO /FM802、株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント、

株式会社TSUTAYA、一般社団法人日本レコード協会

協力 : 西日本旅客鉄道株式会社

監修 : 立川直樹

会場構成・展示デザイン: 金沢工業大学環境・建築学部 宮下智裕研究室

制作協力: 響映、ナカダ

制作 : ハクシオン

お問い合わせ: 金沢工業大学企画部

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1

電話 076-246-4784 メール koho@kanazawa-it.ac.jp

本展公式サイト: www.kanazawa-it.ac.jp/record [世界を変えたレコード展](#) [検索](#)

※会期中 辛坊治郎氏×監修者立川直樹氏によるトークイベントなど様々なイベントを計画中です。

詳細は順次HPでお知らせします。

展示内容

本展の展示プランは、デジタル時代に生まれ、レコードを知らずに育った学生たちが現代の視点で、監修者である立川直樹氏や担当教員宮下智裕准教授とともに膨大なコレクションを編集・構成したものです。

金沢工業大学環境・建築学部 宮下智裕研究室

上條まどか/ 越森真衣/ 谷口千紘/ 富永武典/ 山崎洸希/ 福山駿太/ 石田あかり/

奥村彰太/ 柿谷悠也/ 河瀬一輝/ 北出涼平/ 佐竹淳史/ 高橋仙実/ 武久峻明/ 松井勇介

* 本展でご紹介するレコードおよび関連資料は、すべて金沢工業大 PMC が所蔵しています。



Track1:[プロローグ]

「20世紀の最大のカルチャーはロックン・ロールだ」と言ったのは写真家として初めて“ロックの殿堂”入りを果たしたボブ・グルエンだった。

ミュージシャンとして初めてノーベル文学賞を受賞したボブ・ディランについて、「ボブ・ディランほど世界の同世代の若者に影響を与えた作家はいるだろうか」という名言を口にしたのは、フランスのシンガーソングライターで作家でもあるイヴ・シモン。

1枚のレコード盤にきざまれた「ポピュラーミュージック」は、多くのアーティストの感性を刺激し、たくさんのアーティストたちが影響を受け、それぞれのクリエイションにつなげていきました。

ここではアーティストたちのメッセージのほんの一部をご紹介しますなかから、レコードの魅力にせまります。

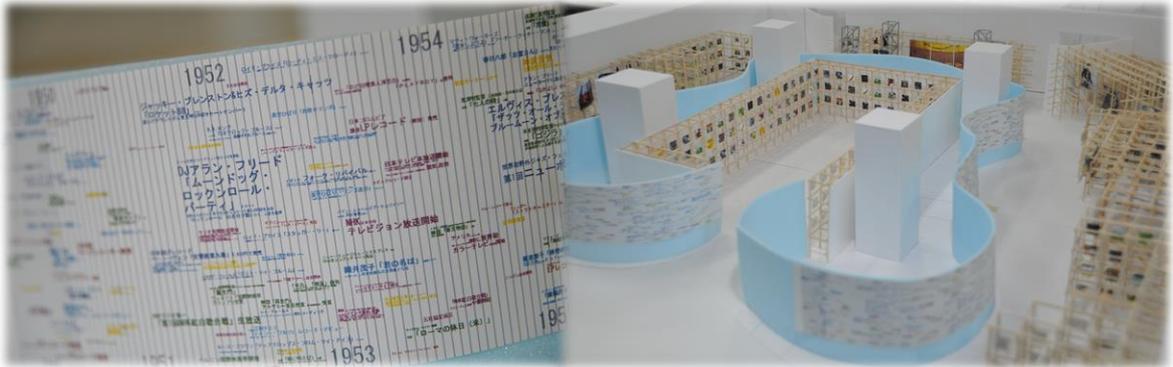


Track2: [ミュージック・クロニクル(年表とインスタレーション)]

<ポピュラー・ミュージック大年表>

全長50mにも及ぶタイポグラフィによるポピュラー・ミュージック大年表

歴史的な名盤のリリースはもちろん、蓄音機やレコード盤などに見る技術の目覚ましい発展、また映画やメディアを巻き込んで創造されたポピュラー・ミュージックの世界が、詳細にかつ整然と記された未だかつてないクロニクルです。



<インスタレーション・ブース>

ポピュラー・ミュージック史上特筆すべきできごと＝時代を象徴するようなレコードを中心に、雑誌・書籍などPMCが所蔵する膨大な資料も併せて紹介するインスタレーション・ブースです。時代のムードが感じられる7つのブースでは、大年表と重ねあわせることでポピュラー・ミュージックがいかにかつ世界を変えてきたかを見直していただけます。

ブース1 1940年代 [アメリカ文化が世界へ]

ブース2 1950年代 [ロックの誕生]

ブース3 1960年代 [メッセージ、プロテスト・ソング]

ブース4 1950年代～ [フェスティバル]

ブース5 1970年代 [アート・ロック]

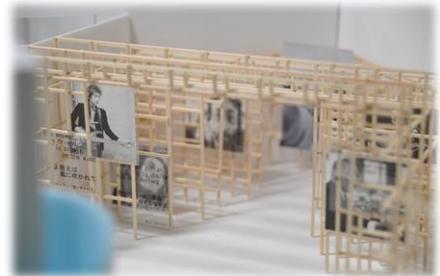
ブース6 1980年代 [MTV]

ブース7 1998年～ [モノから無形化へ]

特設ブース [ユニークでレアなジャケット!]

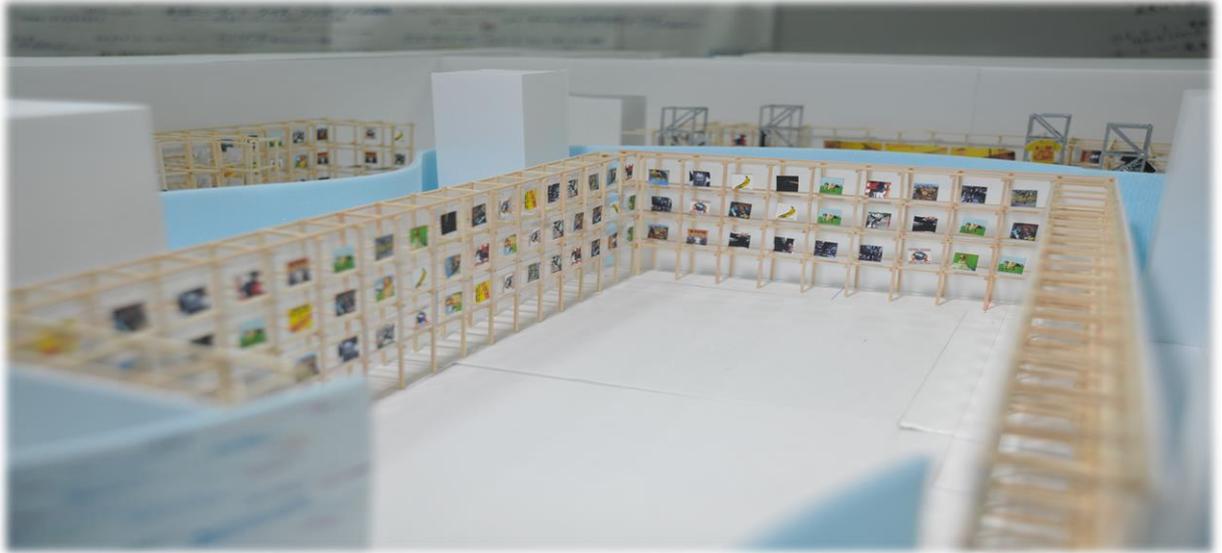
形や素材がユニークな特殊ジャケットをいろいろご紹介

別紙1. 展示レコードリスト



Track 3: [レコード・ジャケット・アート・ギャラリー]

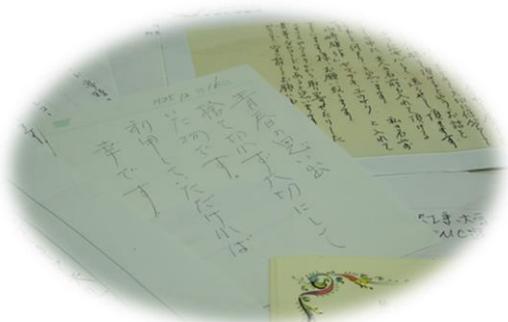
「アート」としてのレコードジャケットの魅力に迫り、選りすぐりのレコードジャケット約150点をご紹介します。**別紙2. 展示レコードリスト**



Track 4: [PMC(ポピュラー・ミュージック・コレクション)]

ここでは 24 万枚を超える金沢工業大学 PMC(ポピュラー・ミュージック・コレクション)の所蔵レコードから厳選したレコードストックとともに PMC を再現した空間をつくります。また、約 1,500 人にもおよぶ寄贈者の方々から PMC にいただいた手紙の数々をご覧ください。そこから読み取れるのは、寄贈者のレコードや音楽に対する想いと惜別であり、それらを後世に残し、若い世代の役に立ててほしいという深い愛情です。

<http://www.kitnet.jp/pmc/index>



* 展示内容は多少変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

金沢工業大学 ポピュラー・ミュージック・コレクション(PMC)

金沢工業大学 PMC は、ポピュラー・ミュージックのアナログレコードが培ってきた録音技術やさまざまな文化との関係を考察し、ジャケットの芸術性に触れることで、学生の感性を刺激する施設として開設されました。プロデューサー立川直樹氏から 17,000 点



におよぶレコードの寄贈を受けて 1992 年にスタートしたものです。以来、全国の愛好家からの寄贈が相次ぎ、所蔵枚数は現在 24 万枚を超えるに至りました。2006 年には、我が国の音楽評論の草分けとして活躍された故福田一郎氏のおよそ 55,000 枚のレコード等をはじめとする音楽遺産が加わり、ポピュラー・ミュージックの総合アーカイブス、音楽ファンの聖地として知られます。



寄贈されたすべてのレコードはデータベース化し、アーティスト名や曲名、アルバム名など様々なキーワードで検索することができます。この検索システム LINKIT II はインターネットで広く公開しています。鑑賞機材としてボディソニック(体感音響装置)を設置しており、ご自分のレコードや CD、iPod などのポータブル・オーディオ・プレイヤーを持ち込んで聴くこともできます。PMC は本学学生にと

ってのリラックスゾーンであるとともに、一般の方もご利用いただける施設です。

近年急速に見直されてきたアナログ・レコード。音楽・音質はもちろん、ジャケットの芸術性が作品としての価値を高めていると言えるでしょう。アートを一般の世界に解放したことも記憶されるべき点です。PMC は開設から 25 年が経ち、その間一般来場者も対象とした数々の「ジャケット・アート展」を開催して大きな反響を頂戴してきました。20 世紀最大の文化ともいえるポピュラー・ミュージックをヴィジュアルで鮮やかに彩ってきたジャケットは金沢工業大学学生のイメージを膨らませ、創造に駆り立ててくれています。そんな状況を見るにつけ、PMC の存在が今後ますます技術と文化の関係を問う契機になっていくように思われます。

■媒体別所蔵枚数 2017年3月31日現在

媒体	LP	EP	SP	CD	SCD	合計
所蔵枚数	166,619	32,176	2,518	31,554	9,114	241,981



■雑誌、書籍など

Billboard、Cash Box をはじめとするチャート本、ミュージック・ライフや Rockin' On、Rolling Stone、Melody Maker など、国内外の音楽雑誌だけでなく、ペーパーバック、アーティスト自伝本なども所蔵。さらに、ボディソニック 13 台、レコードプレイヤー 13 台、CD プレイヤー 13 台他、レーザーターテーブル、ジュークボックス、蓄音器なども所蔵。

